

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

2016年2週の県全体の定点当たり報告数は、1週の2.54から増加し5.81となった。前週から2倍以上の増加となっており、今後の流行状況に注意が必要である。

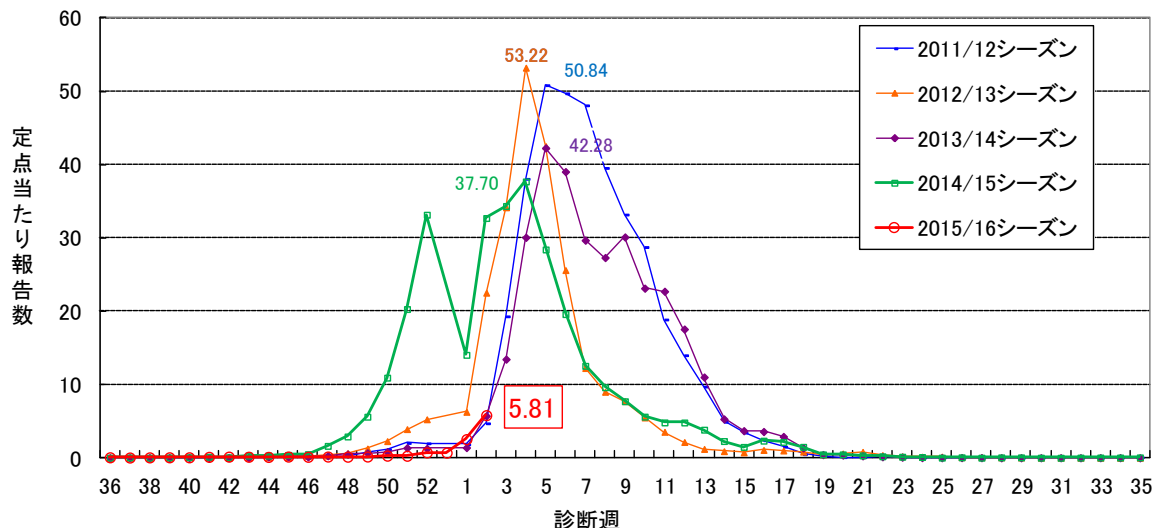
保健所別では、16保健所中13保健所管内で増加し、松戸(9.72)、長生(9.29)、印旛(8.50)、市原(8.18)、習志野(7.25)、君津(7.08)、千葉市(5.86)が多かった。

2015/16シーズン全体の年齢群別報告割合は、5～9歳が28.4%、0～4歳が18.5%、30～39歳が11.7%、10～14歳が10.4%であった。

2015/16シーズン全体の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、2,318例中A型1,826例(78.8%)、B型475例(20.5%)、A and B型7例(0.3%)、A or B型10例(0.4%)であった。

平成27年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

